



# 会報

DISTRICT 253

CLUB BULLETIN

創立 S34.6.9 承認 S34.6.27

## 鶴岡ロータリー

THE ROTARY CLUB  
OF TSURUOKA



田 植

例会場 鶴岡市馬場町 物産館3階ホール  
例会日 毎週火曜日 P.M 12:30—1:30  
事務所 鶴岡市馬場町 商工会議所内  
電話 0235 5775

会 長 鈴 木 弥 一 郎  
幹 事 中 江 亮

### Service. I believe in Rotary.

奉仕・ロータリーを私は信奉する。

第 907 号

1977. 5. 21 (土) (晴)

No.41

5月17日を 台中港区R.C歓迎のため変更

### <台中港区R.C歓迎特集号>

#### 本日のプログラム

1. 点 鐘 (P.M 5:00)
2. ロータリーソング
3. ゲスト・ビジター紹介
4. 会長歓迎の挨拶
5. 市長代理 (斎藤第六助役) 歓迎の挨拶
6. 桜井瑞男分区代理歓迎挨拶
7. 紀坤棟団長挨拶
8. 記念品交換
9. バナー交換 (近隣R.C)
10. 佐藤元伸君 入会セレモニー
11. 点 鐘
12. 出席報告

## ■ゲスト・ビジター紹介

伊藤春夫君、松田善明君、白畑直義君、竹田哲朗君、紙谷健二君—酒田東R・C  
佐藤成生君、原田行雄君—鶴岡西R・C

## ■会長歓迎の挨拶

鶴岡R・C会長 鈴木 弥一郎君

本日此処に当クラブの姉妹クラブ 台中港区R・C 紀団長さん外25名の会員並びに奥様方を御迎えて歓迎例会を開催致しました処、多数の会員並びに奥様方の御列席誠に有り難度う御座いました。

台中港区R・Cの社友の皆さん、そして御家族の皆さんよろこばれ御出で下さいました。私達は心から歓迎申し上げますと共にその御友情に対し深く感謝するものであります。

願まするに 台中港区R・Cの皆さんとは一昨年(2007)の3月に姉妹クラブの盟友の契りを結んでより昨年の盟約一周年記念式典に当りましては御丁寧なる御招待を戴き、佐藤団長以下大挙10数名が表敬訪問を致し其の節には心からなる御歓迎に預りました事は誠に有り難度く深く感謝申し上げます。居る次第で御座います。

先には前社長呉先生を始め4名の社友の御来訪を戴き、全会員親しく交歓出来ました事は今にさめやらぬ感激で御座います。

昨年の8月には陳幹事さんの御来訪を御受け致し、その節には当クラブ例会場の火災焼失に対する過分なる御見舞並びに貴クラブの立派なクラブ旗を頂戴致し誠に心温まる御友情にひたすら感激致して居ります。

この様に海を隔てたロータリーアン同志の交友が時ならずして斯くも広く大きく且つ深く友愛同慶の輪となって拡まることは今更乍らロータリーの偉大さに感銘を新たにすると共にこれを通じて故蔭総統閣下の大恩義に報いる一環にもなることと深く心に銘じまして今後益々その盟約の目的たる日華両国の親睦と相互理解を促進し世界の平和とロータリー精神の増進に寄与すべく決意するものであります。

終りに重なる御友情に深甚の感謝を申し上げますと共に貴国並びに貴社の益々の御発展と各位の御健勝と御多幸を御祈り致しまして挨拶と致します。

## ■市長代理歓迎の挨拶

市長代理 斎藤第六 助役

本日鶴岡ロータリークラブの姉妹クラブとして日頃親しく御交誼を頂いております親愛なる台中港区ロータリークラブ紀団長さん以下会員、御夫人並びに関係者の方々をお迎えすることができましたことは、当鶴岡市にとって無上の光栄であり、10万市民を代表して心から歓迎申し上げます。居る次第でございます。

当地方は東京からも遠く離れ、交通も又不便な状況にあります。旅のつかれもおいとなく遠路遙々お出で下さいました御厚情に対し心から敬意と感謝の意を表するものでご

ございます。

元来、中華民国と日本とは永い歴史の中で密接不可分の関係が続けて参りましたことは今更申し上げるまでもないところでございますが複雑な国際精勢を反映して、現在我が国と中華民国との国交が閉ざされておりますことは、洵に残念でなりません。然し両国の国民感情としては外交とか政治情勢がどうであろうとも、永い歴史の中で培かれた親善友好の絆は一朝一夕にして切れるものではないと信じて疑いません。多くの日本国民は、そして又鶴岡市民は隣り国としての中華民国並びに国民の皆様に対し心からなる敬愛の念を抱いております。

当鶴岡市にも戦前台湾と呼んでおりました当時、御地で生活した経験者が相当おりますし、反面中華民国御出身の方で当地に永住しておられる方も相当おられ、一般市民と何等変ることなく善良な市民として安楽な生活を送って頂いております。

どうぞこの度の御来鶴を契機として両ロータリークラブの親交が一層深まり、両国の親善友好に大きな役割を果たされることを期待してやみません。

最後に紀団長さん始め皆様様の御健康と長途の御旅行恙がなく所期の目的を達成され、無事にお帰りになられます様祈念して歓迎の御挨拶とさせていただきます。

昭和52年5月21日

鶴岡市長 白 井 重 磨

## ■歓迎の挨拶

庄内分区代理 桜井 瑠 男 君

台中港区のロータリアンの皆さん、御家族の皆さんようこそ鶴岡に御いで下さいました。庄内に9つのクラブがありますが我々は心から歓迎申し上げます。本日は各クラブから会長・幹事さんが代表して出席しています。

貴クラブと鶴岡クラブは昭和50年3月姉妹クラブになられて、両クラブの理解を深め平和の為に尽すことを誓いあっていますが、私が中華民国の皆様方に御礼を申し上げたいのは日本が敗戦の時に蔣総統閣下が日本を分割しないでそのまま残して下さいましたこと。若しあの時南北に45°で分割されていたら本日の姿はなかったものと思います。

庄内地区は稲作を中心とする農業地帯で果樹も少々ありますが他に先程休息された湯之浜温泉や善宝寺、羽黒山等をひかえている観光地でもあります。どうぞ明日も庄内の各地を御覧になって何等かの御参考になれば幸いです。

## ■紀団長さんの挨拶

鶴岡R・Cの皆さん 又、本日御来席下さいました先輩の方々、今日は我々の為にかくも盛大な例会と歓迎会をしていただき感謝、感激に堪えません。

台中港区クラブと貴クラブとが姉妹クラブになって2年になりますが、これ迄あまり活

発な交流がなかったようですので、私が第6代の会長に就任した時に2つのスローガンを  
かけ会員に協力を願いました。その1つが私の任期中に姉妹クラブ訪問団を結成して鶴  
岡を訪問することでしたが、本日それが実現出来て非常に嬉しく存じています。

先程鶴岡 R・C 会長様、鶴岡市長代理齋藤助役様及び桜井分区代理様から丁重な御挨拶  
をいただきました。まったく感激して涙が出る想いがいたします。貴国の人達が未だに蔭  
総統閣下に対する敬意を忘れないで下さいました事は誠に光栄で御座います。

台湾と御国は歴史的に見ても地理的に見ても最も親しい間柄でなければなりません。不  
幸にして正式の国交関係は断たれましたが、我々はロータリーの友愛の精神をもってこれ  
を補ぎながら行きたいと思えます。どうぞ今後共よろしく御つきあい下さいます様御願  
いたします。

私事を申し上げて恐縮ですが、私は昭和18年3月から、終戦後復員する迄スマトラの第  
16守備隊に軍属として勤務していました。その第16守備隊の兵隊さんの大部分は山形県と  
新潟県の方々でしたので懐かしさで一杯で外国に来た様な感じがありません。1週間程前ソ  
ウルにいましたがその時は言葉が通じなくて大変困りました。鶴岡は故郷に帰って来た様  
な感じがします、皆様どうぞ今後親しく御つき合い下さる様御願ひ申し上げます。

## ■歓迎の挨拶

歓迎実行委員長 上野三郎君

台中港区 R・C の紀会長はじめ会員の皆さん、そして奥様方並びに関係者の皆さん、は  
るばる遠いところをようこそおいで下さいました。心から歓迎申し上げます。

皆様の当地ご来訪について第1信を頂いたのは当地にまだ雪が残っていた3月はじめ頃  
かと思えます。当クラブではクラブあげて歓迎申し上げよう歓迎実行委員会を組織し、  
今日と明日のために準備を進めて参りました。1975年(昭和50年)3月8日われわれ両ク  
ラブが姉妹クラブの盟約を締結する以前から両クラブの間では、会員が相手クラブを訪  
問する機会がたびたびありました。しかし今回のように20名余の大勢の方々の、しかも御夫  
人ご同伴でのご来訪は初めてのことであります。

皆様の当地ご滞在は25時間に満たない短い時間ではありますが、われわれ実行委員会とし  
ては一つにはこの短い時間にあまり多くの行事を盛り込んで長い旅路にお疲れが出ないよ  
う、2つには、絶好のこの機会に両クラブ会員が相互理解と親睦を一層深め、又好意と友  
情の輪を拡げるため、効果的な交歓が出来るように精一杯の配慮をしながらプログラムを  
作りました。このような考えから、この席には当庄内分区内8クラブの皆さんにもご同席  
頂いております。

われわれはお互い風俗、慣習を異にしており、或は皆様の意に満たないところも多々あ  
るかと思えますが、何卒、同じロータリアンの故をもってお許し願いたいと存じます。

当地は今風薫る最も快い季節であります。この庄内、鶴岡の自然の中で、お互い心ゆく  
まで交歓し当地ご滞在の25時間が50時間以上のものであるように祈念し、歓迎の挨拶とい  
たします。

<台中港区R・C姉妹社友御来訪歓迎プログラム>

歓迎会 P.M 6:00~8:00

司会 丹下誠四郎親睦委員

開宴の言葉

丹下誠四郎君

歓迎の言葉

上野三郎実行委員長

乾杯

祝宴

交換スピーチ 歌

挨拶

紀坤棣団長

閉会の言葉

高橋良士国際奉仕委員長

■分区内R・C招待者御芳名

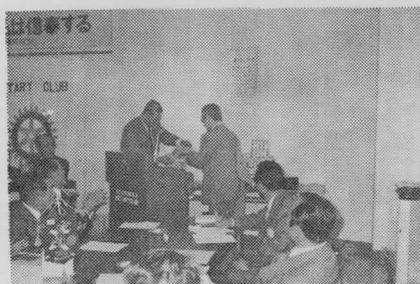
	会 長	幹 事	国際奉仕委員長
遊佐 R・C			帯谷修一君
八幡 R・C	伊藤祐次君		小野甚二郎君
酒田 R・C		北川武雄君	瀬川清君
酒田東 R・C	佐々木勇助君	熟海静夫君	深沢重夫君
余日 R・C			真田礼蔵君
立川 R・C	保科幸三君	風間信寛君	菅谷吉郎君
鶴岡西 R・C	大川俊一君	阿部光男君	桜井清君
温海 R・C	田宮長二君	本間毅君	佐藤五右工門君



鶴岡駅頭に於ける歓迎風景



会長挨拶



パナ一交換



事務局員記念品交換



歓迎会会場にて



歓迎会会場にて



交換学生ダイアンの日本舞踊  
—— 本日のハイライト ——



歓迎会場より湯野浜へ  
—— 会長、ダイアンの熱烈なる握手 ——



—— 観 光 ——  
羽黒会館にて昼食  
—— 山菜料理 ——



—— 観 光 ——  
羽黒山にて山伏の説明を聞く



サヨウナラ台中港区のみなさん  
—— 余目駅にて ——

## ■新入会員佐藤元伸君の紹介

佐藤 衛 君

新入会員入会のセレモニーを姉妹クラブであります台中港区 R・C の御友達の皆さんを御迎えし、皆さんに御紹介できます事を非常に光栄に存じます。

私昭和20年に鶴岡工業建築科に入学しましたが、当時クラス50人のうち、なんと佐藤の姓を名乗る者が11名も居りました。私共鶴岡 R・C も例外ではなく、70名の会員中 佐藤伊和治大先輩以下7名の会員の方が居ります。佐藤姓の会員ばかり多くまぎらわしいようで大変失礼ですが新入会員の佐藤元伸君を御紹介致します。

彼は昭和14年生れの37才です。昭和33年山形工業高校機械科を卒業後、お父さんの会社であります荘和設備に入社、現在は取締役として会社全体を切り廻して居ります。

荘和設備さんは精三会館の隣りにあり、水道工事、暖冷房工事等の会社で R・C の職業分類は空調工事で云う事で皆さんの御仲間入りをさせていただきます。

御家族は御両親と本人夫婦、それに10才の娘さんを頭に一姫三太郎の子だくさんでもあります。趣味は麻雀と将棋でどちらも非常に強いようです。

私共鶴岡クラブの中では一番若い会員になると思いますので先輩各位におかれましては色々の奉仕活動を通じまして彼が立派な職業人として、又立派なロータリアンになります様御力添えをお願いし御紹介を終ります。

## ■出席報告

本日の出席	会員数	71名	欠	皆川君、阿部(公)君、早坂(源)君、半田君、飯白君、板垣(俊)君、海東君、玉城君、風間君、高橋(耕)君、石倉君、三井(賢)君、角田君、中野(重)君、高橋(正)君、小野寺君、佐藤(忠)君、鷺田君、笹原君、横山君、津田君、富樫君、諸橋君、金沢君
	出席数	47名	席	
	出席率	60.20%	者	
前回の出席	前回出席率	72.86%	メア	張君—東京北 R・C 阿部(襄)君—福島南 R・C 早坂(源)君—八幡 R・C 笹原君—仙台 R・C 石井君、五十嵐(三)君、玉城君、風間君、黒谷君、小池君、嶺岸君、三浦君、角田君、佐藤(衛)君、手塚君、藪田君 —鶴岡西 R・C
	修正出席数	67名	1 ッ	
	確定出席率	95.71%	クラブ	